

五行歌集

河口



井椎しづく

夏には
クラゲが流れてきた
カモメも飛んでる
潮の香りの川
隅田川河口

水の中では
生きられないのに
水がないと
生きられない
命の源

広い河口で
深呼吸する
ほつとするのは
そこには
誰も立てないから

船が横切ると
船の人が手をふる
こちらも川岸から手をふる
なぜか
そうしたくなる

わたしは本を読んで

育ちました

王宮の広間や

貧しい家の暖炉に佇み

ぼろぐつを履いていました

青い時代

誰かを好きになつては

その気持ち

試験管で

培養してました

あの人
彼女いるよと
友から聞いて
シーツの沼に
突っ伏したまま

時の流れを
遡り
みつけた
トゲひとつ
そろそろ抜いてやろう

小さな水面のしぶきに
囚われないで
川底の石は
本当の流れを
知っている

穿たれて
穿たれて
岩に穴があいたよ
ひとつのことを
繰り返すちからだ

海の
凄姿を見た
ものすごい大きさで
ものすごいちからで
人は無力だった

全ての淡水は
雨から
循環して
生まれ変わる
何度も何度も

何もできずに
ただ横たわるだけの
私に
友がくれた
慈雨アキラメ

私も
いつか
誰かに
一杯の水を
差し出すことができるのでしょうか

河口

<http://p.booklog.jp/book/89010>

著者：井椎しづく

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tukinoshiduku/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/89010>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/89010>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ